

令和6年度

福島町議会
定例会6月会議

令和6年6月20日（木）

一般質問通告書

福島町議会

令和6年度福島町議会定例会6月会議 一般質問通告書目次

番号	氏名	質問事項	頁
1	平沼 昌平	① 三市町交流事業について ② 人口減少に対する考えについて	3

令和6年6月13日
13時30分 受領

令和6年6月13日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議員 5番 平沼 昌平

一般質問通告書

令和6年6月20日開催の令和6年度福島町議会定例会6月会議において、下記について質問したいので、福島町議会会議条例第63条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
① 三市町交流事業について	<p>三市町交流事業については、コロナ感染の影響を受けながらも、現在まで職員や中学生を中心に当町と松浦市、木曾町の交流が継続されてきております。</p> <p>交流した職員の方々については、其々に違う環境で行政の取り組みを肌で感じ、1年間の貴重な体験を、それぞれの市・町で行政運営に生かしているものと思っております。</p> <p>一方で中学生の皆さんについては、短期間ではありますが貴重な経験を活かし交友関係を広く持つ事で生涯の友人が出来る事など、それぞれの生活圏での違いを肌で感じその後の学生生活に大きくプラスになってきたものと感じております。</p> <p>これまでの経過を踏まえて、今後の三市町交流事業についてお聞きいたします。</p> <p>今までの検証については、どの様に捉えているのか。</p> <p>これからの事業のプランとビジョンについて。</p> <p>行政部局・教育部局の考えを伺います。</p>	町長 教育長

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること。
2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。



質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>② 人口減少に対する考えについて</p>	<p>町の高齢化率も50%を超え、在宅や施設での介護サービスの需要はこれまで以上に高まり、我が国の社会保障も多数の現役世代が高齢者一人を支えるかつての「胴上げ型」から「騎馬戦型」それが維持できなく「肩車型」にも成りつつあり、老々介護の実情、独居老人の増加と厳しい介護実態となっている。</p> <p>一方で働き世代の町外流出が大きな課題となっており、都市をダムに置き換えて考えるとすれば、砂防ダムのな位置付けとなる函館市もその機能は低下し、一般的貯水ダム機能を担う札幌市でさえ人口の減少を阻止する事も厳しくなっている。結局は、貯水も発電も何でもできる東京都というダムの一滴となり自分の可能性を見いだせないで生活する若者も居るように感じる。</p> <p>その様な中で人口減少という国家的な課題に、一自治体がどこまであらがう事が出来るのか。政府が処方箋を見いだせない中で当町のこれからの人口減少を考える時、地域間での「人口の奪い合い」もしょろがないとも感じるが、当町としても人口減少に対する対応を再度検証し再考する時とも考える。</p> <p>あらゆる面から町民と行政と議会とが一丸となって知恵を出して知識を働かせていかななくてはならないと感じるが、今後の施策について伺いたい。</p>	<p>町長</p>

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること。

2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。